

豊かな自然環境の中で、 五感を働かせ 生きる力を育んでほしい！

チャレンジの あゆみ

1974 年 0 歳～3 歳の保育を自宅で開始。その後、障がい児も受け入れ、保護者と共に学び合う。

1989 年、斉藤公子先生の「さくら・さくらんぼ保育」を取り入れ、1993 年からは 0 歳～年長までの一貫保育をスタートする。この頃から九州の交流保育に参加を始め、他園と交流し学び合う。

この保育を「ずっと続けて欲しい」という保護者の声から NPO 法人になることを決意。2013 年 NPO 法人天草あゆみ保育園を設立。

連絡先

NPO 法人
天草あゆみ保育園
天草市本渡町広瀬 457-3
TEL : 0969-22-3138



さくら・さくらんぼ保育を实践
小さな認可外保育園

NPO 法人天草あゆみ保育園

代表 ^{さめしま} 鮫島 ^{さとこ} 里子 さん

産休明けから預けられる保育園を！

保育士の資格を持っていたことから、周りの人に「産休明けから預けられる保育園をつくってほしい」と言われていました。友達と場所を探しましたが、良い所が見つからず「自分で建てるしかない！」と今のこの場所に家を見て自分の家を保育の場所に提供しました。これが「あゆみ保育園」の始まりです。困っている人がいるから何かお手伝いがしたいという思いと、結婚前より保育士の仕事をしたい・障がい児保育をしたいとの夢が私のパワーになりました。

さくら・さくらんぼ保育を实践しています



乳幼児期の子どもたちは、自然の中でのびのびと遊ぶことで感性が豊かになり、運動やリズムに合わせて表現することで運動能力が発達し、それが脳の成長・発達へとつながります。これは、埼玉のさくら保育園の斉藤公子さんが、人類の発達の道筋を科学的に学んで行った保育で、全国にも実践している保育園がたくさんあります。あゆみ保育園もその一員です。自然体験や生活体験、毎日のリズム遊びを大切にしたい保育で調和のとれた心と身体を育てています。

NPO 法人天草あゆみ保育園設立

私たちが取り組んでいる保育を保護者がすごく気に入って下さり、この保育を失くさないように、そしてずっと続いていくようにと NPO 法人にすることにしました。保護者が話し合い NPO を設立している長崎の保育園と一緒に何回も視察に行きました。認可外なので補助は望めないし、保育所の数も減り、公設から民間へ委託される状況の中、「自分たちでやるしかない！」と話し合い、1 年半の準備期間を経て『NPO 法人天草あゆみ保育園』を設立することができました。これまでは自分の責任でやってきましたが、これからは NPO 法人として保護者と一緒に、私も少し荷を軽くして楽しみながら子どもたちを見守っていきたいです。

～ Profile ～

五和町出身。本渡町在住。高校卒業後、働きながら保育士の資格を取得する。結婚後、周囲からの要望で保育園を設立することを決意、自宅を新築し保育園として提供する。障がい児の受入や、「さくら・さくらんぼ保育」を取り入れる。2013 年 NPO 法人天草あゆみ保育園を設立。



牛深でハイヤ節のルーツ 「牛深ハイヤ節」を楽しんで 歌い継ぐ

チャレンジの あゆみ

歌が大好きで、牛深へ嫁いでから地元（じもん）ハイヤに歌で出場。

第13回「牛深ハイヤ節全国大会」にてグランプリ受賞。

地元ハイヤ節を皆さんと共に盛り上げて楽しんで歌っていききたい。

連絡先

ヘアーサロン サヨウ
天草市牛深町 2730-3
TEL : 0969-72-5693



牛深ハイヤ保存会
ヘアーサロン サヨウ

さよう さとみ
佐用 里美 さん

小さい頃から歌が大好きで

小さい頃から歌が大好きです。父の影響もあり小学生の頃から、詩吟を習ったり民謡教室へ通ったりしていました。結婚後、なかなか歌う機会は無かったのですが、あかね市で「地元（じもん）ハイヤ」で歌ってみたいかと話があり、出場したのがきっかけでハイヤ節を歌い始めました。

南風クラブの山崎先生から熱心に指導頂き、牛深ハイヤ節全国大会へ出場するようになりました。

やっと頂いたグランプリ

全国のハイヤ節の発祥といわれる牛深ハイヤの普及と継承を目的に行われる。「牛深ハイヤ節全国大会」が、今年で13回目となりました。私は11回出場するなかで、2位や敢闘賞は数回頂きましたが、グランプリをとるまではと思って頑張りました。ジュニア、青年、壮年、実年、高年の5部門に県内外から100人ほど出場。予選でジュニアを除く4部門の優秀者でグランプリを競いました。今年も気持ちよく歌え、念願のグランプリを受賞。何より嬉しかったです。

これからも楽しみながら歌い継ぐ

牛深ハイヤ節は、とても素晴らしいと思います。牛深に小さい頃から生まれ育った方々の海の香りのする歌い方には、まだまだ及びませんが「地元ハイヤ」を通じて、皆さんと共に牛深を盛り上げていければ良いと思います。これからも楽しみながら頑張りたいです。



皆様のおかげで受賞出来ました

～ Profile ～

熊本市出身。牛深在住。

理容室に勤めながら、通信の理容学校へ。卒業後、奈良・熊本の理容店へ勤務。同業の夫と結婚後、牛深へ。理容室を経営しながら、牛深ハイヤ保存会に所属。

第13回牛深ハイヤ全国大会にて、グランプリ受賞。



多くのトロフィー



東京ドームにて

「話して、和んで、
輪になろう！」
“天草で楽しく子育て！”

チャレンジの

あゆみ

荅北町の志岐保育園が「荅北地域子育て支援センター」を開設することになり、そこで担当者として勤務する。

旧本渡市が子育て支援事業「つどいの広場」を開設するにあたり、子育てアドバイザーとして8年5ヶ月多くの親子と接する。

H14年に親子ビクスのインストラクターを取得。その後、成人指導のインストラクターも取得する。H19年子育てネットワークわ・わ・わの発足に関わる。NP-JファシリテーターやBPファシリテーターを取得し、活動の幅を広げ、現在はNPOの代表を務める。

連絡先

天草市大浜町4番5号
NPO法人子育てネットワーク
わ・わ・わ（話・和・輪）
TEL：090-5473-5412
Mail：wawawa_kosodate
@yahoo.co.jp



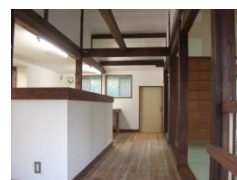
子育て支援の充実と「天草の子宝島」を目指して！

NPO法人子育てネットワーク
わ・わ・わ（話・和・輪）

代表 さわだ ふくみ
澤田 福美 さん

～ Profile ～

荅北町出身。大浜町在住。幼稚園教諭として5年間勤務後、1年間保育園へ勤務する。結婚後、荅北町地域子育て支援センターに勤務。その後、旧本渡市が「つどいの広場」を開設するにあたり子育てアドバイザーとして多くの親子と接する。子育てネットワークわ・わ・わ（話・和・輪）の発足から関わり、平成24年からはNPO法人の代表を務める。



拠点「わわわのううち」

お母さんたちを支援したい！

荅北地域子育て支援センターやつどいの広場に勤務し、多くの親子と接する中で、「お母さんたちを支援するってどうしたらいいのだろう」と思うようになりました。お母さんと子どもの笑顔のため、親子で体を動かし、楽しく体づくりができたらと思い、「親子ビクス」のインストラクターの資格を取得しました。また、市内の産婦人科で「育児学級」を行っています。産後のお母さんの悩み・不安を情報交換・共有するだけで安心することができ、つながることができる。大切なのは横のつながりだと思っています。



「子育てネットワーク わ・わ・わ」とは…



子育て支援の充実を目的に平成19年に発足しました。子育てに関する情報誌を発行したり、親子の絆づくり事業・親育ち講座などを受託し、親子の学びのための場を提供しています。また、市民協働推進事業を受託し、託児「もりもり」を整備拡充しました。任意団体からスタートしましたが、もっと多くの人たちに理解して頂きたいという思いから、平成24年にNPO法人となり子育て中のみなさんの応援団になれるよう活動しています。平成25年度は拠点として「わわわのううち」を整備することができ、みなさんに利用して頂けるよう準備を進めているところです。「わ・わ・わ（話・和・輪）」という名前は、「話して、和んで、輪になろう」という私たちの思いが込められています。一人で悩まないで、楽しく子育てをして、天草が「子宝島」になるようこれからも頑張りたいと思います。

広がる“子育て支援の輪”

子育てネットワークわ・わ・わ（話・和・輪）が発足して6年が過ぎました。これまで、たくさんの講座やイベントを開催してきましたが、参加された人たちがわ・わ・わの運営を手伝ってくださったり、一緒に活動して頂いています。子育てに悩んでいた皆さんが、わ・わ・わの講座を受講し、今度は先輩ママとして後輩のママへアドバイスをしている姿を見ると、なんだか嬉しくなります。着実に子育て支援の輪が広がっているのを実感しています。私たちは、子育てを通して経験したことをもとに、一緒に考えて行動していく団体です。行政や専門家、相談室と子育てに対する不安や悩みを相談する場所はたくさんありますが、「わ・わ・わだったら」と気軽に相談できる、そういう存在でありたいと思います。

大正生まれの干物屋 「守り続ける秘伝のタレ」 受け継ぐ味を食卓へ

チャレンジの あゆみ

夫の家業である干物を受け継ぐ。

手間暇かけての手作業の仕事。塩のきき具合も毎日検食しながら、一つ一つ大切にしています。

皆様に喜んで頂ける商品作りをしながら、もっとPR活動を行って行きたい。

連絡先

霜村商店
天草市牛深町2-6-6
TEL : 0969-73-3868
<http://himono-shimomura.jp/>



創業大正十年 三代続く干物屋

霜村商店
しもむら ますみ
霜村 真寿美 さん

～ Profile ～

五和町出身。牛深町在住。

代々続く家業の「干物屋 霜村商店」を受け継ぐ。



魚を洗っています

「牛深の新鮮な魚を干物に」



夫と息子

夫の祖母が片手間に始めた“さくら干し”が評判になったのを機に、祖父母が干物屋を立ち上げました。それ以来、毎朝市場で仕入れた魚を一匹一匹手作業で開き、秘伝のタレに漬け込んだみりん干しや、地元牛深の天然海塩を使った塩干しなどを作っています。皆様に喜んで頂けるよう、季節ごとの新鮮な魚に“おいしい干物になあれ”と心を込め、商品づくりを行っています。



作業風景

「縁をつなぐ恵比寿さま」



わが家の敷地内には、昭和20年代より祀られている恵比寿さまがあります。毎年11月23日の勤労感謝の日には、地元の方々と一緒にお祭りをしています。

美味しい干物づくりには、この恵比寿さまと、牛深の豊かな海、そして地元の人とのつながりが欠かせないと思っています。



代々受け継がれています

皆さまの食卓に笑顔をお届けします



贈答用

お客様から「先日送っていただいた丸干しで、病のため食が進まなかった兄が、ご飯が食べられるようになりました」と嬉しいハガキが届きました。また、遠くから足を運んで買いに来て頂くお客さまもいらっしやいます。こんな時「この仕事をやって良かった」と思います。これからもこの味を守り、愛し、発展させながら商品づくりを行っていかれたらと思います。買っていただく人に喜んでいただくのはもちろんですが、私たち作り手の想いや、牛深の魅力が伝わる干物づくりを頑張っていきたいと思っています。

緑に囲まれた 癒しの空間で 精一杯のおもてなし

チャレンジの

あゆみ

地域の婦人会や地区振興会、宮地岳営農組合等の活動に参加するようになる。

平成 22 年、宮地岳営農組合の中に「里山民宿の会」が設立され、民宿「すぎんやま」として登録。18 戸で、農業体験・田舎料理体験等の体験型の農家民泊がスタート、代表を務める。

現在、修学旅行生は料理体験等に止まっているため、将来的に宿泊まで受入れができるよう民泊登録を増やすことを目標としている。

連絡先

すぎんやま
天草市宮地岳町 3365
TEL : 0969-28-0067



宮地岳町で農業体験や田舎料理体験等を楽しむ農家民泊がスタート

里山民宿の会

代表 ^{すぎもと} 杉本 ^{まさこ} 昌子さん

地域が元気になる仕組み！

宮地岳町は、平成 22 年に熊本県で初めて 1 つの集落として農事組合法人「宮地岳営農組合」として法人化されました。人口が減少していく中、地域の人たちの農業に対する危機感から町全体で協力して農業を守ろうという仕組みです。そして、町が元気になる仕組みとして、都会の人との交流とグリーンツーリズムを盛り込んだ「農家民泊」がスタートしました。それが「里山民宿の会」です。

民泊を始めるのは不安でした…



農家民泊を始めることになり、営農組合の女性部での勉強会にも参加しました。他人を泊めることよりどんな料理を作ってもてなしたらよいかということがすごく心配でしたが、「いつも食べている料理を」と言われ少し気分も楽になりました。地元の食材と自家製野菜を組み合わせた「田舎料理」、そして緑に囲まれた癒しの空間。これが、私にできる精一杯のおもてなし。あまり気負わず、これからも続けていきたいと思っています。

地域の人たちと一緒に…

40 代で車の免許を取得したのをきっかけに活動範囲が広がり、自宅と職場の往復だけだったのが、地域のイベント等にも参加するようになりました。おかげさまで地域の人たちを知ることができ、自分の活躍の場も出てきたと思っています。そして、皆さんと知り合い、支えてもらい今の自分があると思っています。これから取り組めたらいいなと思うことは、特産品等の加工場をつくることと、高齢者への配食サービスや田舎レストランです。私一人ではできないので、地域の皆さんと一緒に取り組むことができれば地域の活性化につながるのではないかと思います。

～ Profile ～

亀場町出身。宮地岳町在住。婦人会や地区振興会、宮地岳営農組合等の活動に関わる。平成 22 年「里山民宿の会」が設立され、民宿「すぎんやま」として登録。都市住民との交流・グリーンツーリズムを盛り込んだ農家民泊が 18 戸でスタート、その代表を務める。



杉本さんの自宅



民宿「すぎんやま」



天草市が発行している「天草でけけツーリズム」に掲載されています。(杉本さんより提供)



世界のサンタクロースを田舎料理でおもてなし

天草の美しい海を守るために EMによる環境づくりに挑戦

チャレンジの

あゆみ

平成6年に「地球を救う大変革」という本に出会いEMのことを知る。

EMが汚水の浄化やヘドロの分解に大きな効果があることを発見し、「ジャブジャブ作戦」などの河川浄化活動を広めたり、EM農法で無農薬野菜や米の栽培を広める。

2011年からEMによるプール清掃を始める。現在、天草市内の1/3の学校でEMを使ったプール清掃を行っている。

連絡先

天草の海を珊瑚の海に
天草市有明町上津浦
1279 番地
TEL : 0969 - 53 - 1290



EMによる河川浄化や EM農法に取り組む

天草の海を珊瑚の海に

すぎもと れつこ
代表 杉本 烈子 さん

一冊の本との出会い

結婚した頃は天草の美しい海を見るのが大好きでしたが、だんだん海が汚れて家の近くの入り江やため池は、ヘドロが堆積して悪臭がするようになりました。平成6年に友人から比嘉照夫氏の「地球を救う大変革」という一冊の本をもらい、EMのことを初めて知りました。本を参考に「ボカシ」作って生ごみ処理し、生ごみから出た液肥を手洗い場の排水管に流したら、気が付いた時にはきれいになっていました。最初にEMの効果を体験したのはこの時です。ここから私のEM活動が本格的に始まりました。

EMによる河川浄化と農業

「ボカシ」を作り生ごみ処理してできた液肥が、汚水の浄化やヘドロの分解に大きな効果があることを発見し、EMの全国大会で発表しました。今、地域の人たちと一緒にジャブジャブ作戦で河川に流しています。また、肥料用のボカシを作って農業に使用する人も増えています。私は平成6年からずっと水田や畑にボカシや生ごみ処理したペレットと活性液を使っています。生育がとてもよく美味しいお米や野菜が採れます。浦和小でも、平成22年からEMを使った有機栽培でもち米を作っています。EMを使ったお米は、いつまでも腐らないのです。

かなえたい大きな夢



EMによるプール清掃を2011年から旧有明町の4校で始めました。EM活性液をプールに入れるとEM菌が活動し汚れを分解、軽く擦るだけで汚れがきれいになります。化学薬品による清掃は汚れや藻を落とすのも大変で、そのうえ環境にも悪く川の魚が大量死することもありました。現在、市内にある約50の学校の1/3でEMを使っています。全ての学校で使用してもらえよう、地域の愛好会や団体とネットワークを築いてEMによるプール清掃を定着させるのが大きな夢です。

～ Profile ～

阿蘇出身。有明町在住。結婚と同時に天草へ。夫婦で家業である農業、建設業、資材販売業を営む。平成6年に比嘉照夫氏の「地球を救う大変革」という本に出会い初めてEMのこと知り、EMによる河川浄化に取り組む。

